

## 市史編さんの基本的な考え方を定めます - 編さん審議会を開催 -

平成20年6月25日に第1回、9月22日に第2回の「八王子市市史編さん審議会」を開催しました。編さん審議会は「八王子市市史編さん審議会条例」（平成20年4月1日施行）に基づき市長の附属機関として設置され、市長の諮問に応じ、市史編さんの基本構想の策定に関する事、編集方針に関する事などを調査審議し、答申します。

委員は学識経験者など10名で構成されています。市民の視点を大切にして新たな市史をつくろうという考えのもと、編さん審議会には2名の公募市民のほか商工業関連や市民団体を代表する方が加わり、5名の学識経験者はいずれも八王子市と関係のある歴史などの専門の方々です。

第1回編さん審議会では、黒須隆一市長から市制100周年記念事業としての市史編さんを行うにあたり、市民の視点から、大学や地域、市民と協働し、八王子の豊かな歴史と伝統文化を次世代に伝えるため、是非、歴史を掘り起こしてもらいたいとのあいさつがありました。次いで、市長が諮問文を読み上げ、松尾正人会長に手渡しました。編さん審議会では、市史編さんの基本構想策定などのため審議を重ね、市長に答申する予定です。市ではその答申を尊重し、今年度末までに市民からの意見聴取（パブリック・コメント）の手続きを経て「市史編さん基本構想」（仮称）を策定します。



黒須市長より諮問文を受け取る松尾会長

### 八王子市市史編さん審議会委員名簿（敬称略 正副会長以下50音順）平成20年10月30日現在

職名	氏名	選出区分	所属等
会長	松尾 正人	学識経験者	中央大学文学部教授
副会長	相原 悦夫	八王子市文化財保護審議会委員	八王子市文化財保護審議会会長
委員	池上 裕子	学識経験者	成蹊大学文学部教授
委員	河合 和郎	商工業関連団体を代表する者	八王子商工会議所専務理事
委員	長澤美恵子	公募による市民	会社役員
委員	橋山 国雄	市民団体を代表する者	町会自治会連合会
委員	前田 成東	学識経験者	東海大学政治経済学部教授
委員	光石知恵子	学識経験者	古文書を探る会副会長
委員	村松 英二	公募による市民	会社員
委員	渡辺 忠胤	学識経験者	元八王子市文化財保護審議会会長

# 新たな市史編さんを目指して

市史編さん室長 佐藤 広

わが国では、国が決めた政策をそのまま市町村が行うのではなく、住民により近い存在の市や町が独自に財源をもち政策を立案して実行する時代へと進んでいます。市民が主体となって、財源を無駄なく効果・効率的に使う行政運営が望まれています。そして、道路や上下水道などの社会基盤の整備がほぼ終え、安心安全で質の高い市民生活をおくれることが求められています。こうした社会状況を踏まえて市史編さんを行います。

自然や歴史、伝統文化などは、すぐさま私たちの市民生活に目に見える効果や影響を及ぼすものではありません。しかし、地域での近隣関係や家族・仕事環境などの急激な変化のなか、未来の私たちのまちのかたちを考えると、自然や歴史を踏まえた広い視点が必要ではないでしょうか。

市史編さんは、第一に市民共有の資産である歴史資料を収集し、生活する市民の視点から地域の歴史を編み直すことが大切です。単なる唱え言葉としての「市民の視点」ではなく、新たな地域の学問を創造する思いで、編さんの組織、編さんの手法、編さんの成果の発信などにもこうした考え方を反映していきたい。第二に、財政を意識した効果的で効率的な業務遂行に務めたい。第三に、市史編さんはソフトの面からのまちづくりであり、市史編さんの機会に大学と市民、市民相互がふれあい出会う機会としたい。以上のように考えております。

ともかく先人の方々を尊重し、次世代を意識した編さん事業を職員一同、一生懸命に努力してまいります。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

## 市史編さんのあゆみ - 平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 9 月 30 日まで

- 平成 19 年 4 月 1 日 総合政策部に市史編さん室を設置。室長 1 名、職員 1 名を配置。
- 5 月 17 日 庁内にある歴史的価値を有する公文書の所在調査を実施。
- 7 月 27 日 地域史研究者等からの市史編さんに対する意見聴取を実施（～8 月 31 日）。
- 10 月 18 日 庁内からの市史編さんに対する意見聴取を実施（～11 月 20 日）。
  
- 平成 20 年 4 月 1 日 主幹 1 名、市史編さん専門員（嘱託員）2 名を配置。
- 4 月 8 日 旧稲荷山小学校 2 階に執務室を移転。
- 4 月 14 日 職員 1 名を配置。
- 4 月 16 日 八王子学園都市大学いちょう塾の講座「八王子の歴史の第一歩」（全 7 回）を企画、開催（～5 月 28 日）。
- 6 月 25 日 市史編さん審議会を設置。平成 20 年度第 1 回市史編さん審議会を開催。
- 8 月 11 日 インターン実習生（創価大学）1 名を受入れ（～8 月 15 日）。
- 8 月 18 日 「奉仕」授業ボランティア生徒（南多摩高校）6 名を受入れ（～8 月 19 日）。
- 9 月 22 日 第 2 回市史編さん審議会を開催。

# 公文書は市民共有の財産

- 旧町や村の役場文書を集めています -

八王子市は大正6(1917)年に市制を施行し、昭和16(1941)年に小宮町、昭和30(1955)年に横山・元八王子・恩方・川口・加住・由井の6か村が、昭和34(1959)年には浅川町、昭和39(1964)年には由木村が合併しました。近現代のまちの姿を描くには欠かせない基本資料として、旧役場文書を収集し整理しています。文書整理は、市内の古文書学習サークルなどで研鑽をつまれた方々が、専門的な知識と経験を生かして取り組んでいます。

現在の公文書に対する考え方と異なり、明治から昭和にかけては、役場OBの方、その御子孫の方などが公文書をまだおもちの場合があるかもしれません。町や村役場に関する文書や文書に関する情報をおもちの方はぜひ市史編さん室までお知らせください。



高校生ボランティアも一緒に文書整理

## 〔主な整理中の役場文書〕

旧八王子町・旧小宮町・旧横山村・旧元八王子村・旧恩方村・旧川口村・旧加住村  
旧由井村・旧由木村役場(八王子市市民部の協力をいただきました。)

〔参考情報〕政府では、国の公文書の管理・保存は重要な責務であるとし、国の機関における文書の作成から国立公文書館への移管、廃棄までを視野に入れた文書管理の今後の在り方及び国立公文書館制度の拡充等について必要な検討を行うため、「公文書管理の在り方等に関する有識者会議」を設置し、7月1日に中間報告が出され、9月25日までに11回の会議が開催されている。(内閣官房ホームページより)

## 受贈図書・資料 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

多くの方々から、図書や資料をご寄贈いただきました。御芳名を記し、謝意を表します。

〔個人など〕相原悦夫 縣 敏夫 荒井利雄 池田純代 井上輝久 奥住喜重  
小林直之 澤井 栄 清水正之 鈴木佳代子 成田山伝法院 西沢幹夫  
沼 謙吉 光石知恵子 峰岸三喜藏 村上 直 村野圭市 和田武雄  
(敬称略・50音順)

〔公的機関〕甲府市市長室 相模原市市史編さん室 寒川文書館  
上越市総務部総務課公文書館準備室 東京都公文書館 十日町情報館  
東村山ふるさと歴史館 松本市文書館  
横須賀市総務部総務課市史編さん担当

# 歴史の窓①

## 八王子を訪れたシュリーマン

市史編さん専門員 白石 烈

ハインリッヒ・シュリーマン（1822 - 1890 年）はトロイの遺跡を発掘した世界的著名人だが、彼がかつて幕末の八王子を訪れていたことをご存知だろうか。今から約140年前の慶応元（1865）年6月（太陽暦）。ちょうど世が明治に改まる3年程前のことである。

43歳のシュリーマンは遺跡発掘の前に世界旅行に出発したが、かねてから日本訪問に「身を焦がしていた」彼は、インド・清国経由で横浜港に到着した。

彼の旅行記には“長州再征”に出発する將軍徳川家茂（とくがわ いえもち）の行列など、江戸や外国人遊歩区域内の各地が記録されているが、横浜滞在中「とくに興味深かった」のが「絹の生産地である大きな手工芸の町八王子」訪問の旅だった。

6月18日、馬で横浜を出発した一行は、前方に富士山を見ながら進み、原町田（現町田市）に1泊してから八王子に到着している。あいにくどしゃ降りの雨のなかを蓑（みの）を着ての旅だったが、彼は八王子の景色を「田園はいたるところさわやかな風景が広がっていた。高い丘の頂からの眺めはよりいっそう素晴らしいものだった。」とも記している。八王子宿の散策は雨のため思うようにいかなかったという。しかし、それでも八王子の町について「家々は木造二階建てで、時折見かける耐火性の『練り土』の家は銀行か役所」だったとしている。町の規模は「道幅二十六メートル、約一マイル〔二キロメートル〕近くもつづく大通りにそって、ところどころに車井戸」があったという。「たいていの家に絹の手織機があり、絹織物の店を出している。」とあり、この点は“桑の都”を彷彿とさせる記述であろう。

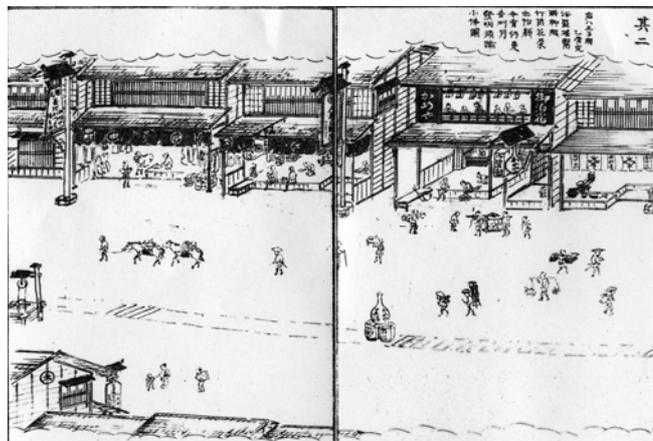
梅雨のため肝心の八王子の記述が少ないのは本当に残念だが、かのシュリーマンを惹きつけた、八王子の歴史的魅力について改めて考えてみてはいかがだろうか。

（しらいし つよし）

〔参考文献〕H.シュリーマン（石井和子訳）『シュリーマン旅行記 清国・日本』

（講談社学術文庫、1998年）

香川節『洋学と異人さんと八王子』（かたくら書店、1991年）



▲ 八王子宿（「八王子名勝志」国立国会図書館所蔵）

八王子市郷土資料館『八王子宿のうつりかわり』より転載

< 編集後記 > 本紙のタイトル「稲荷山通信」は、市史編さん室が事務所を置いている旧八王子市立稲荷山小学校（昭和57年度から平成15年度の間に開校）にちなんで名づけました。私たちが働いている場所の歴史も大切にしていきたい、との思いからです。

この「市史編さん室だより」は、みなさまとの情報や意見交換の場として活用したいと考えております。お気軽に御意見・御感想をお寄せください。

### 稲荷山通信（八王子市市史編さん室だより）第1号

発行日：平成20（2008）年10月30日発行

発行：八王子市総合政策部市史編さん室 Tel 042 666 1511

〒193-0943 八王子市寺田町1455 3 fax 042 666 1512